

蠟梅 Now

世界各地でテロが頻発している。6月下旬以降の1か月間だけでも、やや乱暴な括りではあるが、イスラム圏(ヨルダン、ソマリア、トルコ、バングラデシュ、イラク、サウジアラビア、シリア、インドネシア、カザフスタン)に加え、仏ニュースでの大型トラック暴走テロ、独南部ビュルツブルクの列車内ナイフ襲撃テロ、独ミュンヘンのファストフード店銃乱射テロ等が発生。これらの大半がIS 要員・感化者によるもので、犠牲者の多くは罪のない民間人である。

この間、テロ未遂事件もブラジルをはじめ世界各地で同様に頻発している。今やテロやテロ未遂事件は、中東・北アフリカに止まらず、欧州、南西アジア、東南アジア、中央アジア、中南米そして米国と、世界のどの地域でも見境なく勃発している。

我が国も既にこうしたテロと無縁ではない。バングラデシュの事件では、JICA の支援活動に携わる7名が犠牲になった。アルジェリアのテロに次ぐ惨事である。単に犠牲者の数が増えただけでなく、国内にもIS 関係者・感化者の存在を匂わせるものがあるともいう。テロは国内でも起こり得るとの認識をもつべきである。

日本人は「水」と「安全」はタダと考えていると指摘されたことがあった。戦後70年、総じて平和に過ごしてきたためなのか、我々は危機意識、リスク認識が低いといえる。情報の収集・分析を含めた我が国政府・企業の危機管理や海外旅行時の心構えも含めた日本人の危機意識の在り方が改めて問い直されている。

フェニックスの如く、がんばろう 日本！

閑話休題。

当法人のシンボルツリー「蠟梅」は、暑さが厳しさを増す中でも例年通り、自然の営みの一つとして、子孫繁栄に向けて結実に精を出している。不格好ながらしっかりと種子を抱き、放置していれば、いずれ弾けて発芽してもおかしくはないと思うのだが、10余年の時の流れの中でその兆しはなかった。

2011年に実生で生を得た二世は順調に育っており、この暑さの中、まばゆいばかりの新緑に陰りが見え始め、一部に茶褐色への変化が出てきた。もう暫く暑さと奮闘し、やがて落葉を経て越冬モードに入る。この単純な繰り返しだが、飽きることもない、これ見よがしのこだわりにも、立ち位置がゆらぎがちな我々は存在感が薄れていきそうになる。



《発行者》

特定非営利活動法人 未来技術フォーラム神戸
事務局長 大森 信

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 2-2-4

TEL&FAX : 050-2014-2293 (IP Phone)

E-mail : info@npo-ftfk.or.jp

URL : <http://www.npo-ftfk.or.jp>